

# ✦ 干布小学校だより

6月号 R3.6.25  
天童市立干布小学校  
校長 多勢 弘子

## 「心のアンテナ」を働かせる

子供たちは登校するとすぐに、アサガオや畑の作物に水やりや草取りをしています。そして、芽がいくつ出たか、葉が何枚、背丈は何センチになった、と順調な成長に喜ぶ姿があれば、畑に植え替えた元気がない、アブラムシがついた等のトラブルに遭遇し困惑している姿もあります。



首あたりまで、大きくなったよ。

また、教室ではモンシロチョウやメダカ等、生き物の世話をしている子供もいます。

先日、プールで捕まえたヤゴが羽化し、トンボと抜け殻を見せに来ました。「トンボの羽はこんなに大きいけれど、抜け殻はとても小さい。きっとヤゴは水の中だし、羽も濡れて柔らかく折りたたまれているんじゃないかな。」成虫になったトンボを不思議そうに、そして、宝物のように見つめていました。



コロナ禍で窮屈であっても、子供たちは日常生活の小さな事柄に柔らかな感覚を働かせ、反応し驚き、感動しています。これからの予測困難な時代をたくましく生き抜くためには、どんな環境であれ、「心のアンテナ」である感性を働かせ、「楽しい」「おもしろい」「すごい」「いいね」と感動できる子供たちであってほしいと考えています。



2年「御苦楽園」訪問

そんな思いもあり、今年度、2年ぶりの天童市音楽鑑賞教室でオペラを楽しんだ後、美術館に立ち寄り、宮西達也の絵本展を鑑賞してきました。生の演奏の響きに自然と体が動き、絵本で見た優しき暴れん坊のティラノサウルスのキャラクターの前では大興奮し、満足して帰ってきました。



さて、例年の読み聞かせ「ぶどうの実」がコロナ禍で中止していることを受けて、図書委員会から代役の申し出がありました。さらに、今年度発足した「いろどり緑委員会」では、緑の羽根募金の収益金をもとに自分たちで花を植えて、みんなに喜んでほしいと代表委員会で提案していました。

このようにコロナ禍であれ、新しいものを創り出す力を引き出すのは、「心のアンテナ」を働かせ、日常の何気ない所にも美しさを見出す力を持っているからこそ、と思います。



干布小図書室

本校では、子供たちがしっかりと「心のアンテナ」をいつも働かせていけるように、自然体験、読み聞かせ、芸術鑑賞など感性を揺さぶるような体験・経験をこれからも PTA や地域の方々と協力し実行していきます。



2年「御苦楽園」訪問

## 天童一中の先生 と つなぐ・つくる

熱中症予防プロジェクトチーム（健康委員長（6年）とプログラミングスタッフ（5年2名））が昇降口に熱中症警告灯を設置しました。

昨年度から、熱中症予防に、暑い日は外で遊べるかどうかを温度と湿度によって判断し健康委員会が結果を掲示しています。今年度はさらに、外に設置した温湿度センサーで計測し、昇降口のパソコンで読み取り LED ライトを点灯させて知らせる装置を作って試しています。

でも、もっとみんなに注目してもらいたい。そのためには亚克力板

にイラストを彫って光らせてみたらどうだろうと作って試していました。ところが、絵がうまく光らない。そこで、中学校美術の先生に聞いてみることにしました。6/14(月)中間休みにリモートで、実際に操作した画面を見ながら、アドバイスを3点もらいました。早速、道具を注文し、新たな加工を施しています。

遠隔交流やプログラミング等、ICT活用によって、子供たちの学びが広がっています。



赤：危険（外で遊べない）

青：注意（水分補給して遊ぶ）



写真はPC画像：天童一中の美術の先生（左）から専門的なアドバイスもらって試している様子（右）



## 主な行事予定

- 1日（木） 安全点検
- 6日（火） 朝会
- 8日（木） 通学班会  
床磨きワックス塗布（教室2年以上）  
いじめ防止対策委員会
- 9日（金） 床磨きワックス塗布（廊下4年以上）
- 15日（木） 野外活動体験学習（5年）
- 19日（月） 代表委員会
- 20日（火） 委員会活動
- 30日（金） 一学期終業式
- 31日（土） 夏季休業 ～8月24日（火）



6/8(月) 聖火ランナーが天童市を走るのに合わせて、5年生も一緒にトーチリレーを行いました。一生に1度かもしれないオリンピックの自国開催。教室で見守り、雰囲気を楽しみました。



6年生が公民館向かいの畑をお借りし、里芋とねぎを育てています。上手くできたら、四谷小に送り、一緒に芋煮を味わいたいなあ。

これからも感染状況による変更が予想されます。詳細については随時学校ホームページでお知らせしております。学校の様子も含め、ぜひご覧ください。  
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

